

【事業構想大学院大学修士課程入学をご検討の方向けオープンセミナー】

「ニューノーマル時代、地域企業における事業構想のあり方」

オンラインとリモートによって新しい時間と新たな空間を生んだニューノーマル時代、従来の“不利”は未来の“有利”に代わるでしょう。例えば、ニューノーマルによって「地方」という言葉は消え失せ、「地域」という言葉にすべて置き換わる、そんな時代になります。

いま地域企業の中で、何がしたいか、何ができるか、何をすべきか。そのすべてを集めて、事業構想をしてみましょう。その“舞台”の入口は、事業構想大学院大学にあります。

今回、北海道から沖縄の離島まで、地域企業の事業構想の支援に多くの実績をもつ当大学院の教員が、ニューノーマル時代を踏まえて、「地域企業の事業構想のあり方」について語ります。

地域企業に事業構想の舞台に上がる勇気と舞台に掛ける熱意があれば、ビジネスアイデア(0 to 1)→ビジネスローンチ(1 to 10)→ビジネスグロス(10 to 100)の道はきっと拓かれるでしょう。ニューノーマル時代は、「地域企業がビジネスを創る時代」となります。

この機会に事業構想大学院大学をご体感ください。オンライン開催ですので、全国からご参加いただけます。参加者の皆様からのご質問やご意見も歓迎いたします。

開催概要

日時：2020年10月10日（土）11:00～12:00

視聴方法：オンライン（Zoomを予定しています）

費用：無料（但し事前登録が必要です。ご登録者にのみオンライン会場をご案内します）

定員：なし

プログラム概要

経産省や地方経産局、都道府県産業振興課からの指名により、地域産業振興、地域企業支援、地域ビジネス人材育成等を目的とした事業においてディレクターやコーディネーターとして務めた事案をもとに、「地域企業の事業構想のあり方」について解説します。

解決したい課題をターゲットに、企業の「存在のめじるし」となる技術開発 oriented なシーズと、地域の「時間のものさし」やひとの「幸せのやじるし」といった顧客体験 oriented な

ニーズを掛け合わせ、どのように地域企業が事業構想していくべきかについて、その舞台の入口へご案内します。



担当教員

西根 英一（にしね えいいち）

事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学 特命教授

宣伝会議コピーライター養成講座 講師

株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長

プロフィール

マーケティング戦略とコミュニケーション設計の専門家として、ビジネスとパブリックとアカデミアの3領域で指揮をとる（主たる領域はヘルスケア）。大塚グループ、電通グループ、マッキン・ワールドグループ(最高知識責任者の後、グループ顧問)を経て、現在に至る。当大学院では、実践アイデア発想法、健康・医療の事業構想、事業構想基礎演習（1年次ゼミ）、事業構想計画演習（2年次ゼミ）等を担当。「事業構想に求められるビジネスローンチとビジネスグロースの2ステップ」（事業構想研究 3: 21-28, 2020）他、マーケティングコミュニケーションに係る論文を多数執筆。近著に『ヘルスケアビジネスの図本～ヘルスケアビジネスの要件を満たすための50の開発目標』。